令和８年度第２回神奈川支部評議会

資料３

神奈川支部における重点課題及び施策について

「もしも」と「いつも」に安心を。

協会けんぽ

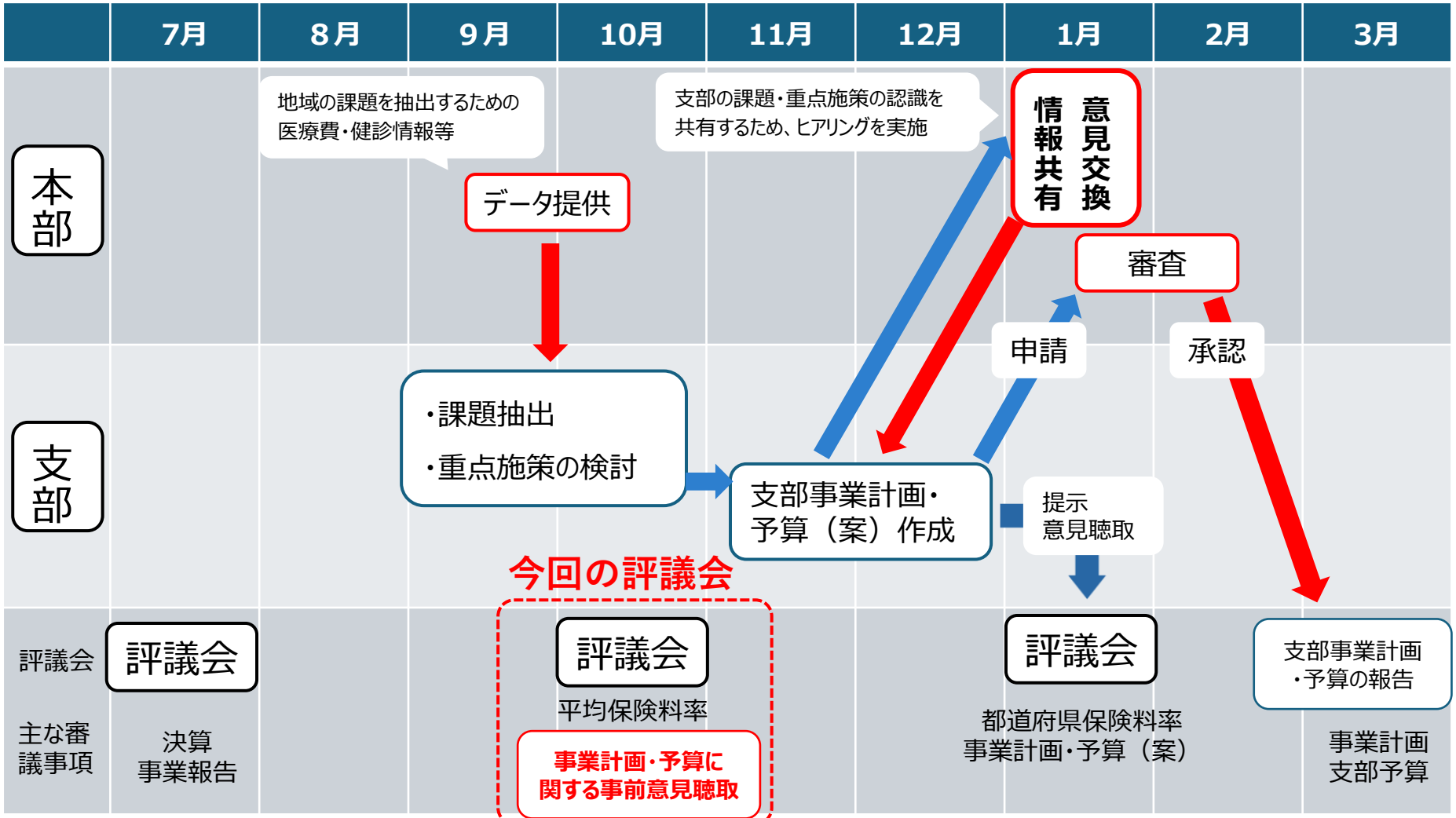
２０２６年１０月２６日

全国健康保険協会

神奈川支部

事業計画・予算策定のスケジュール（現時点での見込み）

○　令和９年度の支部事業計画・予算の策定は、以下のスケジュールにより、支部ごとの課題や重点施策を本部・支部間で共有のうえ策定し、本部・支部が連携して課題解決に取り組む。



令和７年度　神奈川支部医療費等分析

令和７年度　加入者及び医療費の概要

加入者及び一人当たり医療費の状況

神奈川支部の加入者は約170万人。年齢階級別でみると50歳代の構成比が高い。
また、一人当たり医療費は20代が最も低く、30代以降は年齢が上がるにつれ高くなる。

支部名	加入者数	加入者年齢構 成割合							
		0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
神奈川	1,703,218人	8.02%	11.00%	12.73%	13.66%	17.40%	20.87%	12.91%	3.41%
埼玉	1,442,476人	8.12%	11.61%	12.70%	13.65%	17.45%	20.89%	12.28%	3.31%
千葉	1,047,002人	8.14%	11.29%	13.12%	14.04%	17.32%	19.79%	12.53%	3.77%
新潟	741,997人	8.45%	12.27%	11.61%	13.09%	17.90%	19.22%	13.71%	3.74%
佐賀	274,217人	9.76%	13.18%	12.34%	12.64%	17.07%	16.98%	13.85%	4.19%
全国計	39,808,944人	8.50%	11.52%	13.40%	14.05%	17.45%	19.12%	12.64%	3.32%

支部名	年齢階級別一人当たり医療費								年齢調整前 一人当たり医療費
	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	
神奈川	201,389円	128,781円	106,354円	144,585円	181,935円	260,199円	399,357円	567,365円	220,485円
埼玉	192,443円	128,653円	101,208円	135,482円	169,136円	250,769円	380,075円	547,598円	208,568円
千葉	186,503円	126,010円	95,064円	129,174円	174,818円	255,032円	387,062円	546,006円	209,853円
新潟	190,184円	129,075円	100,774円	138,126円	158,620円	239,402円	354,580円	513,879円	203,961円
佐賀	220,344円	140,408円	122,793円	162,042円	194,683円	284,871円	431,443円	606,417円	242,377円
全国計	203,598円	132,449円	105,813円	144,301円	177,034円	257,410円	395,190円	564,958円	215,844円

「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

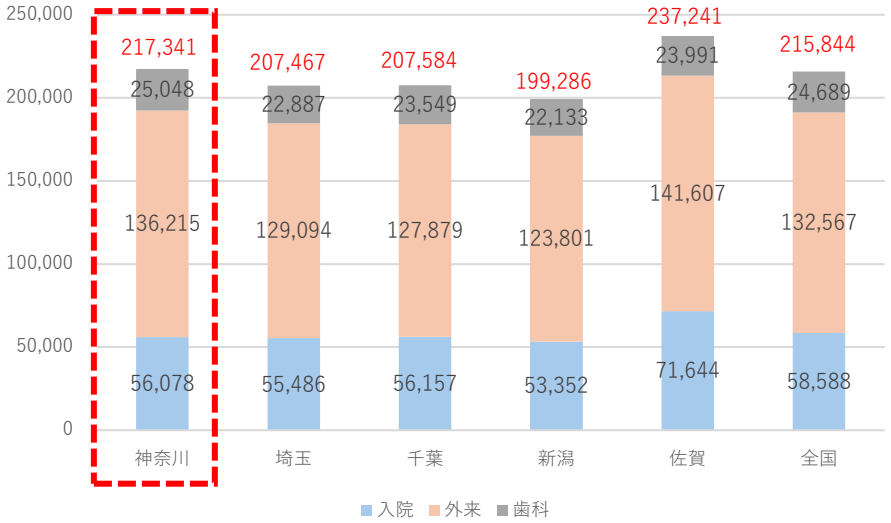
用語の解説

一人当たり医療費
年度別の医療費を年度平均加入者数で除した数

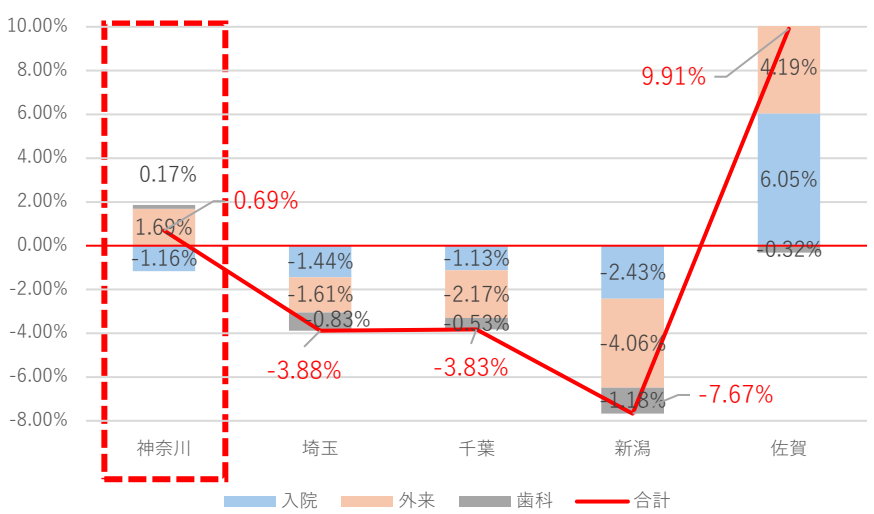
年齢調整後一人当たり医療費の状況

神奈川支部の年齢調整後の一人当たり医療費は、全国平均を1,497円上回る。全国平均からの乖離率寄与度は0.69％で、内訳は入院-1.16％、外来1.69％、歯科0.17％で外来と歯科は上回る。

年齢調整後一人当たり医療費（円）



年齢調整後一人当たり医療費の乖離率寄与度



順位	支部	一人当たり医療費（円）	順位	支部	一人当たり医療費（円）	順位	支部	一人当たり医療費（円）	順位	支部	一人当たり医療費（円）	順位	支部	一人当たり医療費（円）
1位	佐賀	237,241	11位	山口	223,192	21位	愛知	215,940	31位	石川	211,380	41位	山梨	206,729
2位	徳島	228,926	12位	長崎	223,007	22位	京都	215,549	32位	三重	211,045	42位	福島	205,527
3位	北海道	227,549	13位	岡山	221,698	23位	高知	214,843	33位	栃木	210,150	43位	茨城	205,427
4位	香川	225,554	14位	秋田	221,596	24位	広島	213,833	34位	岩手	209,957	44位	群馬	204,491
5位	福岡	225,476	15位	兵庫	221,233	25位	東京	213,825	35位	鳥取	209,111	45位	富山	201,478
6位	熊本	225,303	16位	愛媛	220,041	26位	福井	213,060	36位	滋賀	208,989	46位	長野	200,252
7位	島根	224,384	17位	宮城	219,753	27位	奈良	212,834	37位	沖縄	207,809	47位	新潟	199,286
8位	鹿児島	224,355	18位	山形	219,116	28位	岐阜	212,631	38位	静岡	207,687			
9位	大分	224,120	19位	神奈川	217,341	29位	青森	212,017	39位	千葉	207,584			
10位	大阪	223,520	20位	和歌山	217,098	30位	宮崎	211,711	40位	埼玉	207,467			

「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

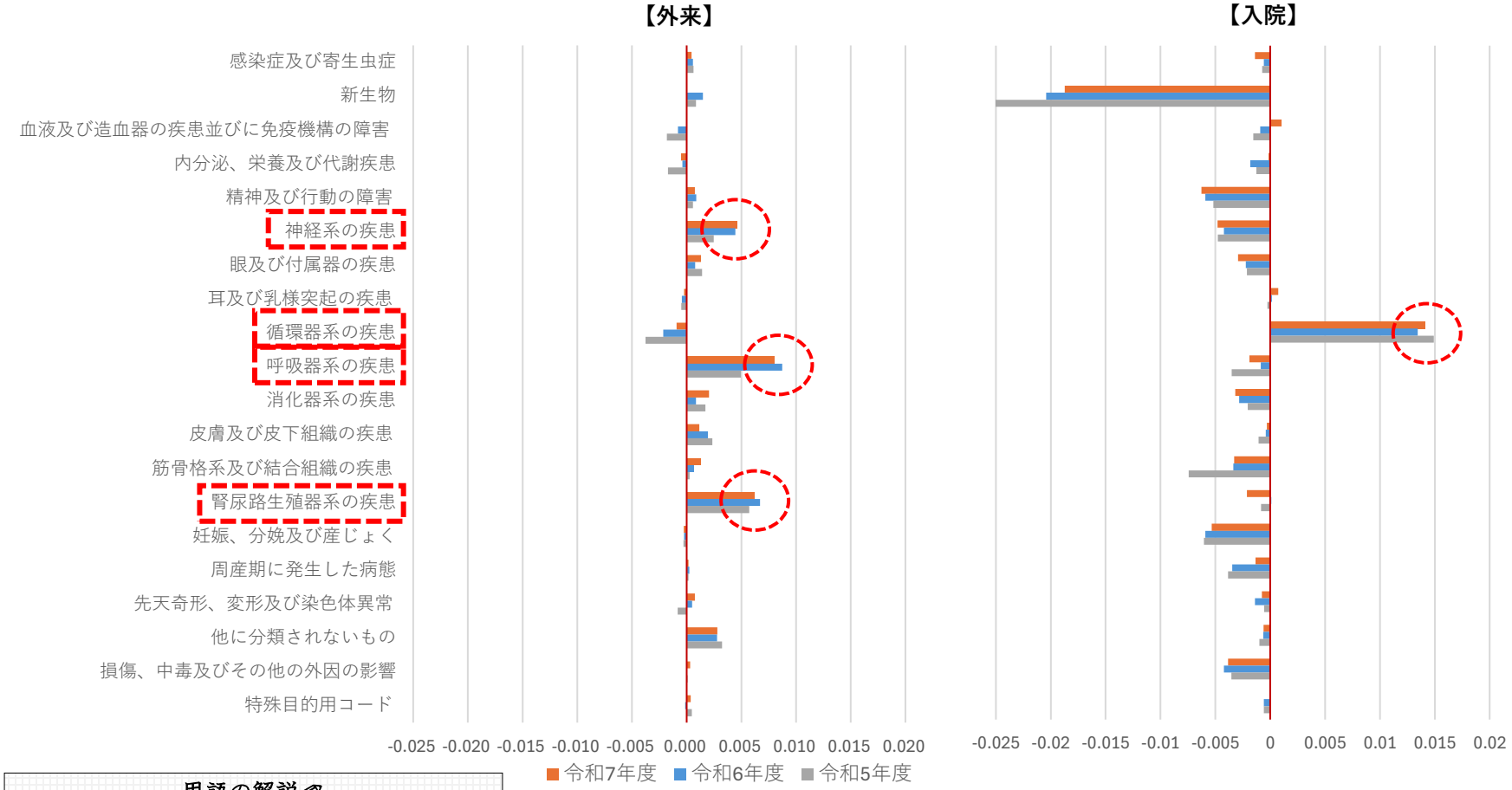
用語の解説

年齢調整
都道府県の年齢構成の違いによる医療費の格差を除くこと

協会けんぽ

【疾病大分類別】一人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度（外来・入院）

神奈川支部の一人当たり医療費について、疾病大分類別の寄与度を診療種別（外来・入院）ごとにみると、
外来は「神経系の疾患」「呼吸器系の疾患」「腎尿路生殖器系の疾患」が高く、入院は「循環器系の疾患」が高い。



用語の解説

地域差指数
一人当たり医療費を年齢調整し、全国平均を1として指数化したもの。医療費の地域差を示す。ここでは、地域差指数から1（全国平均）を除いた数値を表示している。

全国健康保険協会　情報系システムより集計

協会けんぽ

循環器系の疾患（入院）について

【疾病大分類別/男女別】一人当たり医療費の状況（入院）

神奈川支部の入院での一人当たり医療費の状況をみると、「循環器系の疾患」では特に男性の順位が高く、全国との差も大きい。

※一人当たり医療費は年齢調整後

疾病大分類	男性			女性		
	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）
感染症及び寄生虫症	1,047	23位	1	748	38位	-110
新生物	13,081	36位	-894	12,646	41位	-1,185
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	466	25位	-22	531	21位	12
内分泌、栄養及び代謝疾患	1,382	16位	113	938	38位	-122
精神及び行動の障害	1,149	47位	-450	2,081	39位	-248
神経系の疾患	2,467	39位	-314	2,160	37位	-251
眼及び付属器の疾患	947	38位	-160	760	42位	-180
耳及び乳様突起の疾患	330	12位	45	341	11位	47
循環器系の疾患	16,744	5位	1,160	7,076	14位	185
呼吸器系の疾患	3,230	35位	-211	1,971	29位	-38
消化器系の疾患	5,013	32位	-128	2,892	42位	-327
皮膚及び皮下組織の疾患	485	31位	-37	342	28位	-8
筋骨格系及び結合組織の疾患	4,835	26位	51	5,252	41位	-462
腎尿路生殖器系の疾患	1,986	33位	-86	2,205	32位	-107
妊娠、分娩及び産じょく	－	－	－	3,583	45位	-485
周産期に発生した病態	1,666	35位	-213	1,595	24位	-24
先天奇形、変形及び染色体異常	1,478	25位	16	1,080	38位	-119
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	306	29位	-38	279	34位	-33
損傷、中毒及びその他の外因の影響	4,684	31位	-311	3,614	35位	-254
特殊目的用コード	52	21位	0	30	37位	-12

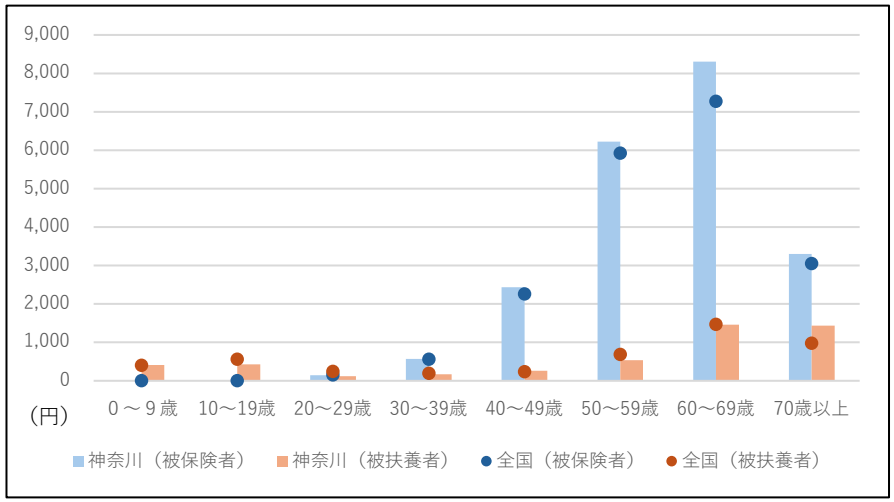
「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

【被保険者被扶養者別/男女別】循環器系の疾患の一人当たり医療費（入院）

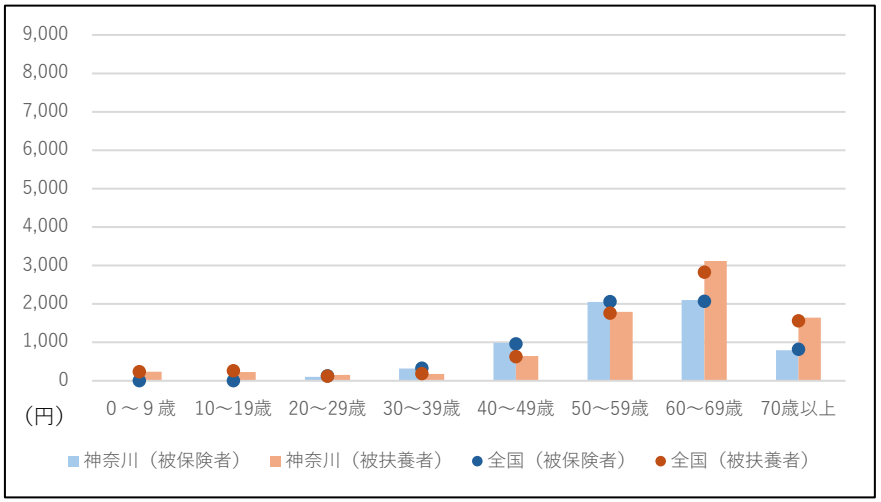
循環器系の疾患（入院）について被保険者及び被扶養者別でみると、一人当たり医療費の合計は、男性は被保険者が高く、被保険者と被扶養者の差が大きい。女性は被扶養者のほうが高い。
また、男性被保険者の60～69歳では全国との差がかなり大きい。

※一人当たり医療費は年齢調整後

▼男性



▼女性



▼被保険者（男性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	－	6	141	571	2,434	6,225	8,307	3,301	20,985
全国	－	5	151	558	2,259	5,925	7,275	3,054	19,226
差	－	0	-10	13	175	300	1,033	248	1,758

▼被保険者（女性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	－	0	105	321	982	2,054	2,105	791	6,359
全国	－	2	125	328	957	2,056	2,067	817	6,352
差	－	-2	-20	-6	26	-2	38	-26	7

▼被扶養者（男性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	413	425	118	167	263	534	1,459	1,435	4,813
全国	400	558	247	192	237	689	1,469	975	4,768
差	12	-133	-130	-25	27	-155	-11	460	46

▼被扶養者（女性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	237	227	151	181	648	1,797	3,117	1,646	8,004
全国	238	260	117	188	631	1,758	2,828	1,562	7,583
差	-1	-33	34	-7	16	39	288	84	421

「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

協会けんぽ

【疾病小分類別】循環器系の疾患の一人当たり医療費（入院/男性/被保険者）

循環器系の疾患（入院）について小分類別でみると、「その他の心疾患」について全国との差が大きく、順位が高い。
また、「その他の心疾患」を年齢階級別でみると、60～69歳において順位が高い。

※一人当たり医療費は年齢調整後

疾病小分類	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）
くも膜下出血	829	18位	52
その他の循環器系の疾患	2,832	8位	370
その他の心疾患	7,146	3位	724
その他の脳血管疾患	562	24位	2
虚血性心疾患	4,346	13位	316
高血圧性疾患	243	16位	49
低血圧（症）	3	28位	-1
動脈硬化（症）	317	14位	39
脳梗塞	2,489	19位	33
脳内出血	2,219	11位	174

その他の心疾患に含まれる主な疾患

リウマチ性心疾患、急性リウマチ性心膜炎、急性リウマチ性心内膜炎、急性リウマチ性心筋炎、リウマチ性舞踏病（シデナム舞踏病）、僧帽弁狭窄症、リウマチ性僧帽弁閉鎖不全症、リウマチ性大動脈狭窄症、リウマチ性大動脈弁閉鎖不全症、原発性肺高血圧症、三尖弁狭窄症、三尖弁閉鎖不全症、肺性心、急性心膜炎、感染性心膜炎、慢性収縮性心膜炎、大動脈弁峡窄症、心タンポナーデ、大動脈弁閉鎖不全症、肺動脈弁狭窄症、肺動脈弁閉鎖不全症、急性心筋炎、心筋症、拡張型心筋症、閉鎖性肥大型心筋症、房室ブロック、左脚ブロック、右脚ブロック、心停止、発作性頻拍、上質性頻拍、心房細動、不整脈、期外収縮、洞不全症候群、心不全、うっ血性心不全

⇒加齢に伴い必然的に発症リスクが上がる疾患が多く含まれる一方で、高血圧や糖尿病、喫煙などの生活習慣によるものも含まれている。

▼その他の心疾患（年齢階級別）

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
神奈川（円）	0	85	306	809	1,848	2,994	1,104
全国（円）	3	88	247	709	1,841	2,499	1,034
順位	22位	23位	11位	8位	17位	2位	13位

「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

腎尿路生殖器系の疾患（外来）について

【疾病大分類別/男女別】一人当たり医療費の状況（外来）

神奈川支部の一人当たり医療費（外来）の状況をみると、「腎尿路生殖器系の疾患」は男女ともに順位が高く、全国との差も大きい。

※一人当たり医療費は年齢調整後

疾病大分類	男性			女性		
	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）
感染症及び寄生虫症	4,484	8位	138	3,247	31位	-49
新生物	11,901	33位	-336	17,609	10位	423
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,636	27位	-30	1,921	27位	6
内分泌、栄養及び代謝疾患	16,031	34位	-449	14,045	21位	286
精神及び行動の障害	5,430	28位	-324	7,615	5位	601
神経系の疾患	5,571	8位	347	6,739	4位	955
眼及び付属器の疾患	4,913	13位	68	6,845	10位	343
耳及び乳様突起の疾患	1,139	21位	-15	1,499	22位	-19
循環器系の疾患	16,696	28位	-275	10,382	31位	-175
呼吸器系の疾患	17,143	12位	417	20,623	1位	1,927
消化器系の疾患	8,419	21位	-81	8,768	8位	617
皮膚及び皮下組織の疾患	8,281	18位	38	9,154	11位	308
筋骨格系及び結合組織の疾患	7,355	24位	-14	13,245	12位	575
腎尿路生殖器系の疾患	8,651	7位	974	11,195	8位	771
妊娠、分娩及び産じょく	－	－	－	422	37位	-50
周産期に発生した病態	407	7位	84	217	36位	-40
先天奇形、変形及び染色体異常	1,188	23位	-49	1,445	3位	249
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,711	7位	350	3,461	4位	428
損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,394	22位	-26	3,245	9位	127
特殊目的用コード	973	27位	32	1,088	19位	73

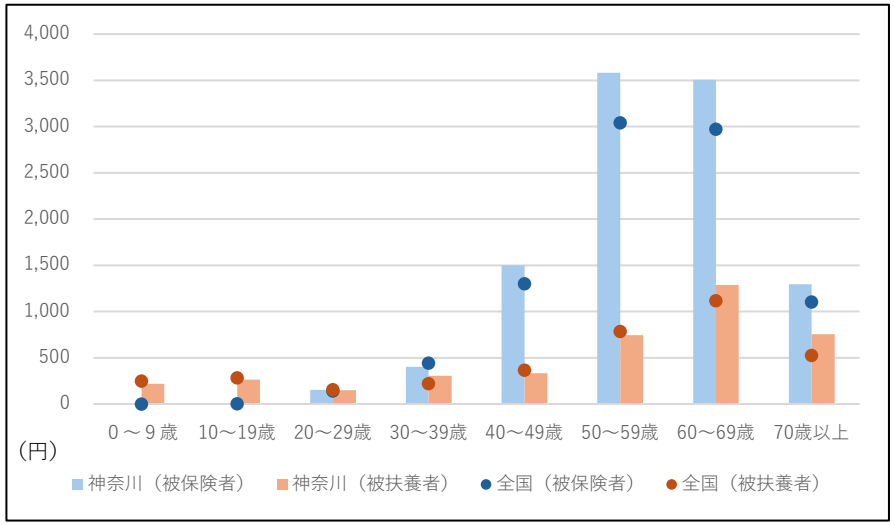
「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

【被保険者被扶養者別/男女別】腎尿路生殖器系の疾患の一人当たり医療費（外来）

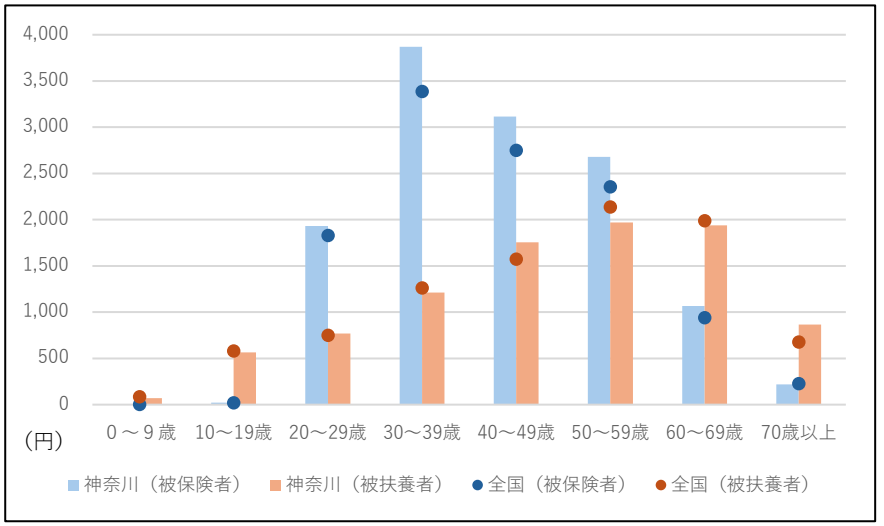
腎尿路生殖器系の疾患（外来）について被保険者及び被扶養者別でみると、男女ともに被保険者の一人当たり医療費が高い。
被保険者のうち、男性は50歳～69歳で、女性は30～59歳で全国との差が大きい。

※一人当たり医療費は年齢調整後

▼男性



▼女性



▼被保険者（男性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	－	3	151	400	1,497	3,582	3,506	1,295	10,434
全国	－	5	144	444	1,302	3,041	2,974	1,104	9,014
差	－	-2	7	-44	195	541	532	191	1,420

▼被保険者（女性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	－	21	1,933	3,871	3,114	2,680	1,066	217	12,902
全国	－	19	1,827	3,384	2,747	2,354	939	227	11,498
差	－	2	106	487	367	325	127	-10	1,404

▼被扶養者（男性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	217	262	148	306	332	744	1,287	756	4,053
全国	249	283	156	221	368	786	1,120	528	3,711
差	-32	-21	-7	85	-35	-42	167	229	343

▼被扶養者（女性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	68	564	770	1,213	1,754	1,968	1,940	864	9,141
全国	85	580	749	1,262	1,571	2,136	1,988	675	9,047
差	-17	-17	21	-49	182	-168	-48	189	94

「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

協会けんぽ

【疾病小分類別/男女別】腎尿路生殖器系の疾患の一人当たり医療費（外来/被保険者）

腎尿路生殖器系の疾患（外来）について小分類別でみると、男性では「腎不全」の全国との差が大きく、順位が高い。
特に60～69歳で順位が高い。
女性では「月経障害及び閉経周辺期障害」及び「乳房及びその他の女性生殖器の疾患」（以後、「女性生殖器系の疾患」という。）の全国との差が大きく、順位が高い。特に30～59歳で順位が高い。

※一人当たり医療費は年齢調整後

疾病小分類	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）
その他の腎尿路系の疾患	394	32位	-52
その他の男性生殖器の疾患	263	30位	-40
糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	395	37位	-41
腎不全	7,904	3位	1,588
前立腺肥大（症）	1,083	15位	18
尿路結 石症	384	41位	-53

※月経障害及び閉経周辺期障害と乳房及びその他の女性生殖器の疾患は削除

疾病小分類	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）
その他の腎尿路系の疾患	767	19位	-4
月経障害及び閉経周辺期障害	3,552	6位	370
糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	317	41位	-58
腎不全	1,604	9位	240
乳房及びその他の女性生殖器の疾患	6,504	10位	858
尿路結 石症	158	22位	0

※その他の男性生殖器の疾患と前立腺肥大（症）は削除

▼腎不全（男性/年齢階級別）

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
神奈川（円）	0	63	208	1,162	2,994	2,640	837
全国（円）	0	34	232	955	2,423	2,032	639
順位	27位	8位	28位	6位	4位	1位	9位

▼月経障害及び閉経周辺期障害（年齢階級別）

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
神奈川（円）	11	936	758	843	913	85	5
全国（円）	10	876	729	736	747	76	6
順位	21位	7位	7位	3位	2位	7位	19位

▼腎不全（女性/年齢階級別）

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
神奈川（円）	0	17	97	320	657	420	92
全国（円）	0	19	65	258	538	376	108
順位	18位	23位	7位	10位	12位	18位	25位

▼乳房その他の女性生殖器の疾患（年齢階級別）

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
神奈川（円）	7	855	2,866	1,712	725	294	44
全国（円）	5	797	2,430	1,497	670	209	39
順位	6位	14位	11位	7位	13位	4位	11位

「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

協会けんぽ

呼吸器系の疾患（外来）について

【疾病大分類別/男女別】一人当たり医療費の状況（外来）【再掲】

神奈川支部の一人当たり医療費（外来）の状況をみると、「呼吸器系の疾患」では特に女性の順位が高く、全国との差も大きい。

※一人当たり医療費は年齢調整後

疾病分類	男性			女性		
	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）
感染症及び寄生虫症	4,484	8位	138	3,247	31位	-49
新生物	11,901	33位	-336	17,609	10位	423
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,636	27位	-30	1,921	27位	6
内分泌、栄養及び代謝疾患	16,031	34位	-449	14,045	21位	286
精神及び行動の障害	5,430	28位	-324	7,615	5位	601
神経系の疾患	5,571	8位	347	6,739	4位	955
眼及び付属器の疾患	4,913	13位	68	6,845	10位	343
耳及び乳様突起の疾患	1,139	21位	-15	1,499	22位	-19
循環器系の疾患	16,696	28位	-275	10,382	31位	-175
呼吸器系の疾患	17,143	12位	417	20,623	1位	1,927
消化器系の疾患	8,419	21位	-81	8,768	8位	617
皮膚及び皮下組織の疾患	8,281	18位	38	9,154	11位	308
筋骨格系及び結合組織の疾患	7,355	24位	-14	13,245	12位	575
腎尿路生殖器系の疾患	8,651	7位	974	11,195	8位	771
妊娠、分娩及び産じょく	－	－	－	422	37位	-50
周産期に発生した病態	407	7位	84	217	36位	-40
先天奇形、変形及び染色体異常	1,188	23位	-49	1,445	3位	249
症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,711	7位	350	3,461	4位	428
損傷、中毒及びその他の外因の影響	3,394	22位	-26	3,245	9位	127
特殊目的用コード	973	27位	32	1,088	19位	73

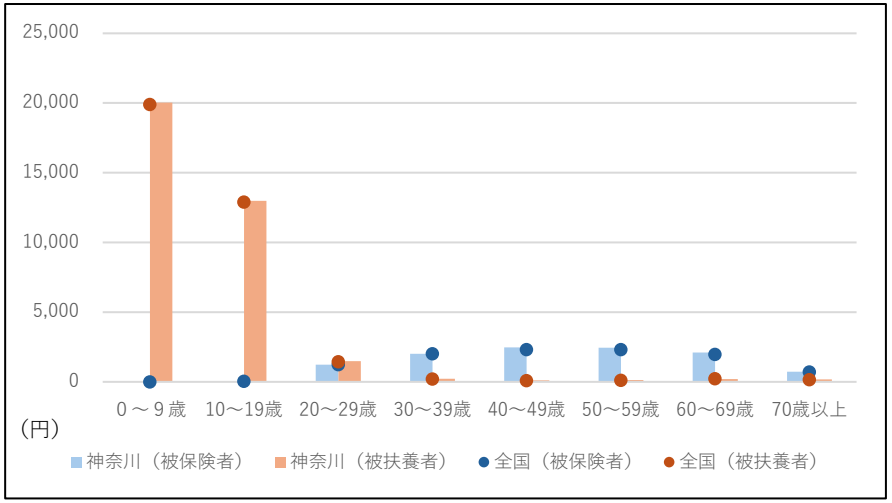
「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

【被保険者被扶養者別/男女別】呼吸器系の疾患の一人当たり医療費（外来）

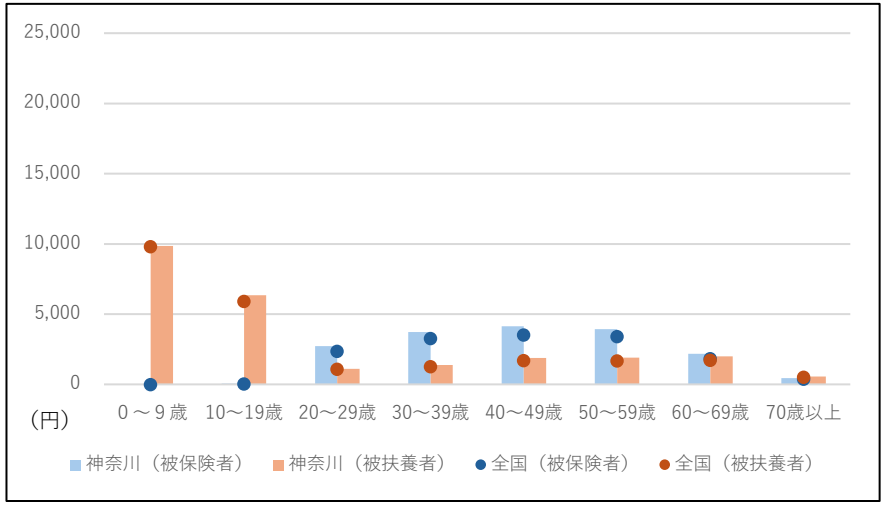
呼吸器系の疾患（外来）について被保険者及び被扶養者別でみると、一人当たり医療費の合計は男女ともに若年層の被扶養者で高く、特に男性被扶養者で高い。また、全国との差は女性の被保険者及び被扶養者が大きく、特に女性被保険者では20～69歳で全国との差が大きい。

※一人当たり医療費は年齢調整後

▼男性



▼女性



▼被保険者（男性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	－	43	1,222	2,014	2,460	2,452	2,093	719	11,004
全国	－	45	1,238	2,009	2,309	2,312	1,955	703	10,571
差	－	-2	-16	6	151	140	138	16	432

▼被保険者（女性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	－	51	2,729	3,726	4,145	3,937	2,186	455	17,228
全国	－	46	2,361	3,274	3,530	3,396	1,839	374	14,819
差	－	5	369	452	615	541	347	81	2,409

▼被扶養者（男性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	20,024	12,987	1,485	210	115	121	200	182	35,325
全国	19,889	12,883	1,444	194	92	111	229	161	35,003
差	135	104	41	16	23	10	-29	21	322

▼被扶養者（女性）

	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
神奈川	9,856	6,353	1,113	1,376	1,887	1,910	1,984	553	25,033
全国	9,801	5,915	1,085	1,274	1,696	1,668	1,714	513	23,666
差	55	438	28	102	191	242	270	40	1,367

「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

協会けんぽ

【疾病小分類別】呼吸器系の疾患の一人当たり医療費（外来/女性/被保険者）

呼吸器系の疾患（外来）について小分類別でみると、「アレルギー性鼻炎」「喘息」について全国との差が大きく、順位が高い。また、「アレルギー性鼻炎」「喘息」を年齢階級別でみると、20～70歳台で順位が高く、1位である年代が多い。

※一人当たり医療費は年齢調整後

疾病小分類	一人当たり医療費（円）	順位	全国との差（支部-全国）（円）
アレルギー性鼻炎	4,390	1位	809
その他の急性上気道感染症	2,537	5位	134
その他の呼吸器系の疾患	1,627	13位	100
急性咽頭炎及び急性扁桃炎	881	13位	84
急性気管支炎及び急性細気管支炎	856	27位	-49
急性鼻咽頭炎[かぜ]＜感冒＞	173	38位	-62
急性又は慢性と明示されない気管支炎	91	29位	-12
肺炎	167	18位	3
慢性副鼻腔炎	924	13位	109
慢性閉塞性肺疾患	261	7位	36
喘息	5,322	1位	1,257

▼アレルギー性鼻炎（年齢階級別）

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
神奈川（円）	8	688	1,022	1,167	994	443	67
全国（円）	7	556	863	953	800	349	53
順位	16位	1位	3位	1位	1位	1位	4位

▼喘息（年齢階級別）

	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
神奈川（円）	7	498	897	1,324	1,482	914	200
全国（円）	6	351	665	1,005	1,173	708	157
順位	9位	1位	1位	1位	1位	1位	2位

「令和７年度加入者基本情報・医療費基本情報」より

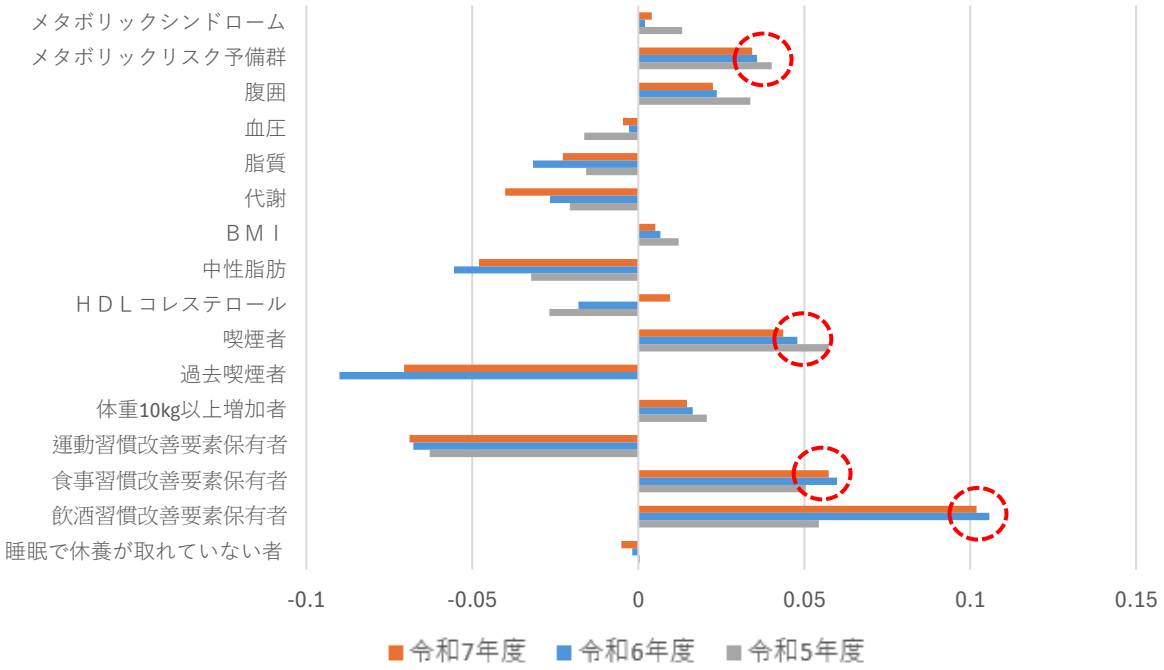
協会けんぽ

令和７年度　生活習慣病リスク保有者及び生活習慣要改善者の状況

生活習慣病リスク保有率及び生活習慣要改善者の割合

健診結果では「メタボリックリスク予備群」、問診結果では「喫煙者の割合」「食事習慣要改善者の割合」「飲酒習慣要改善者の割合」が全国平均より高い。

【健診結果及び問診結果の地域差指数-1】



【健診結果（各種リスクの保有率）】

年度	メタボ	メタボ予備群	腹囲	血圧	脂質	代謝	ＢＭＩ	中性脂肪	ＨＤＬコレステロール
R5	16.1%	13.2%	36.4%	45.4%	28.4%	15.3%	31.6%	18.3%	4.0%
R6	16.1%	13.3%	36.5%	46.4%	28.0%	15.2%	32.2%	17.5%	3.9%
R7	16.2%	13.4%	36.7%	46.2%	28.2%	14.9%	32.6%	17.2%	3.8%

【問診結果（要改善要素保有者の割合）】

年度	喫煙者	過去喫煙者	体重	運動習慣	食事習慣	飲酒習慣	睡眠
R5	29.4%	0.0%	42.2%	62.8%	55.3%	13.0%	38.5%
R6	28.8%	14.9%	42.9%	61.4%	56.1%	16.3%	39.1%
R7	28.4%	15.5%	43.2%	60.5%	56.1%	15.9%	38.6%

全国健康保険協会　情報系システムより集計

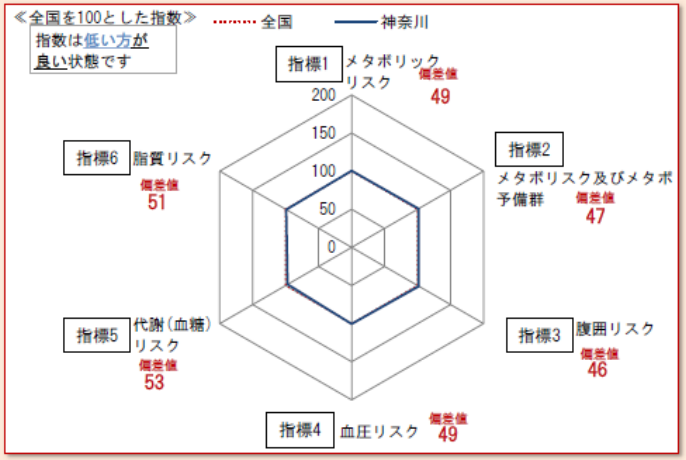
協会けんぽ

【男女別】生活習慣病リスク保有者の割合

男性では「メタボリックリスク」「メタボリスク及びメタボ予備群」「腹囲リスク」「血圧リスク」で全国平均より低い。
また、男女ともに「腹囲リスク」の偏差値が最も低い。

【男性】

【生活習慣病リスク保有者の割合(2025年度)】



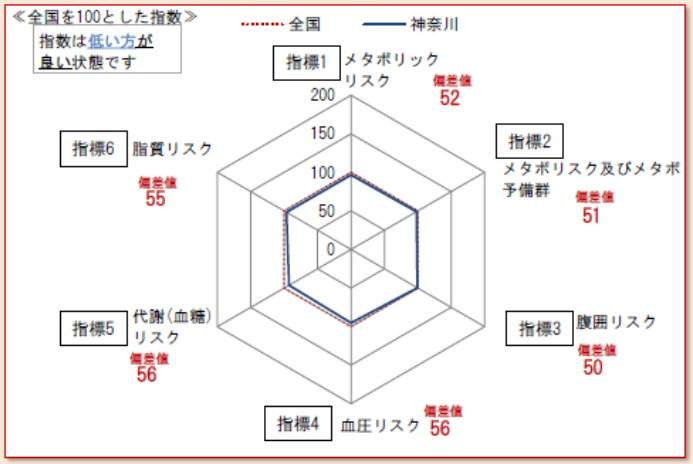
※ 偏差値はリスクが低い（良い）方が高い（全国平均と等しければ50）。

指標1	メタボリックリスク	B	指標2	メタボリスク及びメタボ予備群	B
指標3	腹囲リスク	B	指標4	血圧リスク	B
指標5	代謝(血糖)リスク	B	指標6	脂質リスク	B

S:偏差値70以上、A:偏差値60台、B:偏差値40～50台、C:偏差値30台、D:偏差値30未満

【女性】

【生活習慣病リスク保有者の割合(2025年度)】



※ 偏差値はリスクが低い（良い）方が高い（全国平均と等しければ50）。

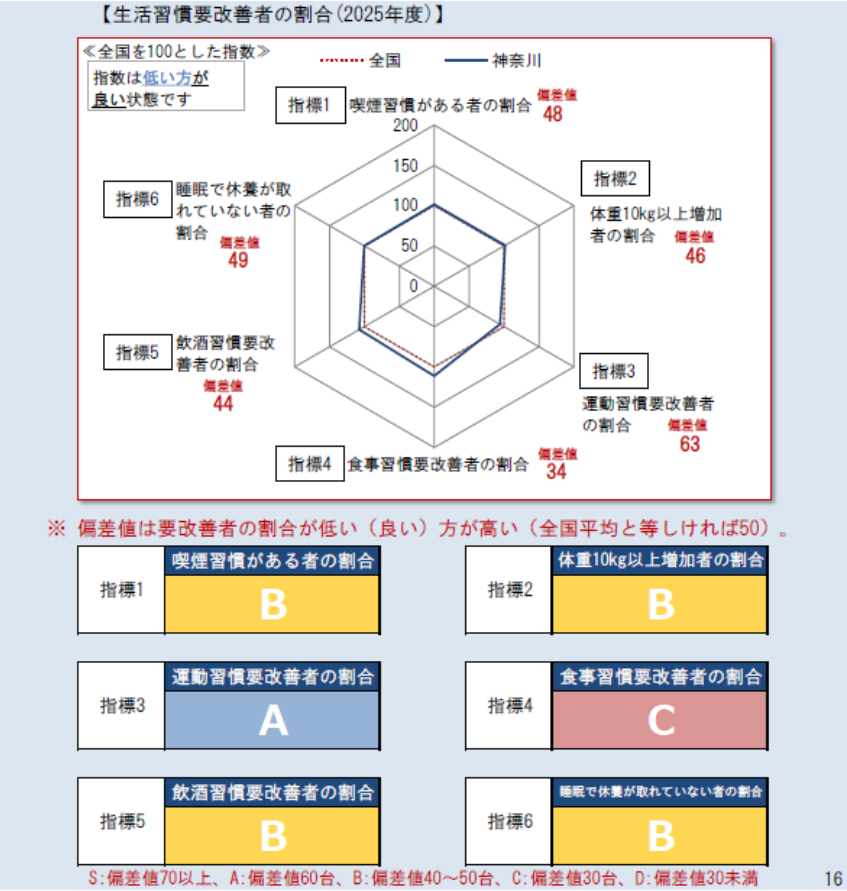
指標1	メタボリックリスク	B	指標2	メタボリスク及びメタボ予備群	B
指標3	腹囲リスク	B	指標4	血圧リスク	B
指標5	代謝(血糖)リスク	B	指標6	脂質リスク	B

S:偏差値70以上、A:偏差値60台、B:偏差値40～50台、C:偏差値30台、D:偏差値30未満

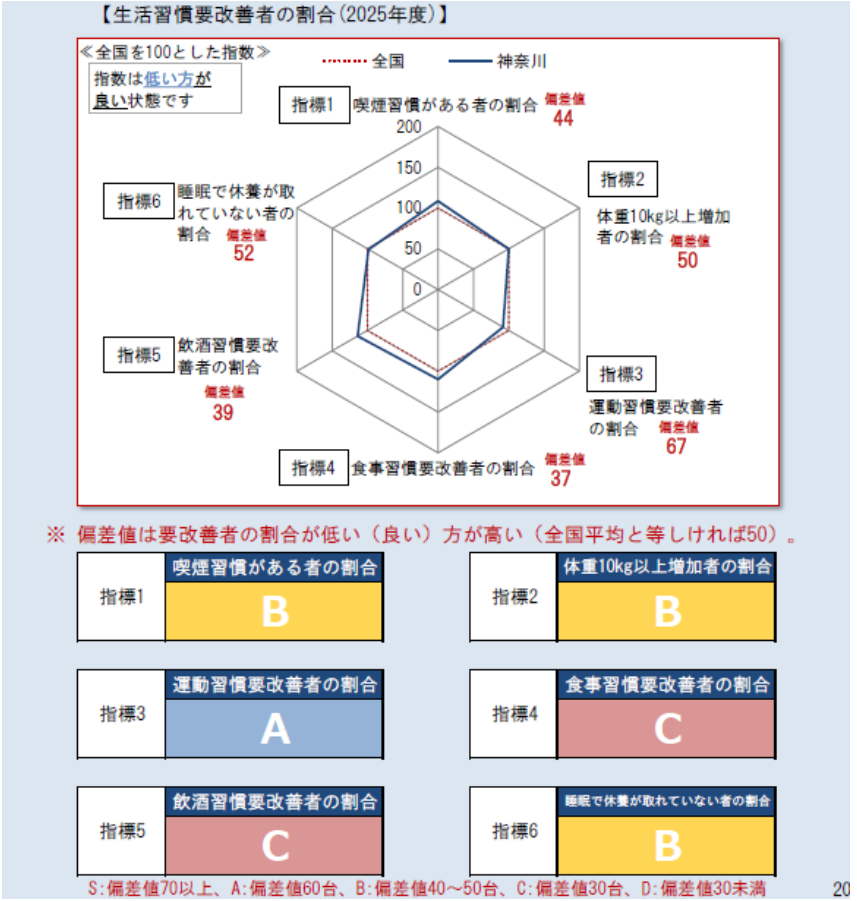
【男女別】生活習慣要改善者の割合

女性では「食事習慣要改善者の割合」「飲酒習慣要改善者の割合」の偏差値が低い。
また、男女ともに「食事習慣要改善者の割合」の偏差値が最も低い。

【男性】

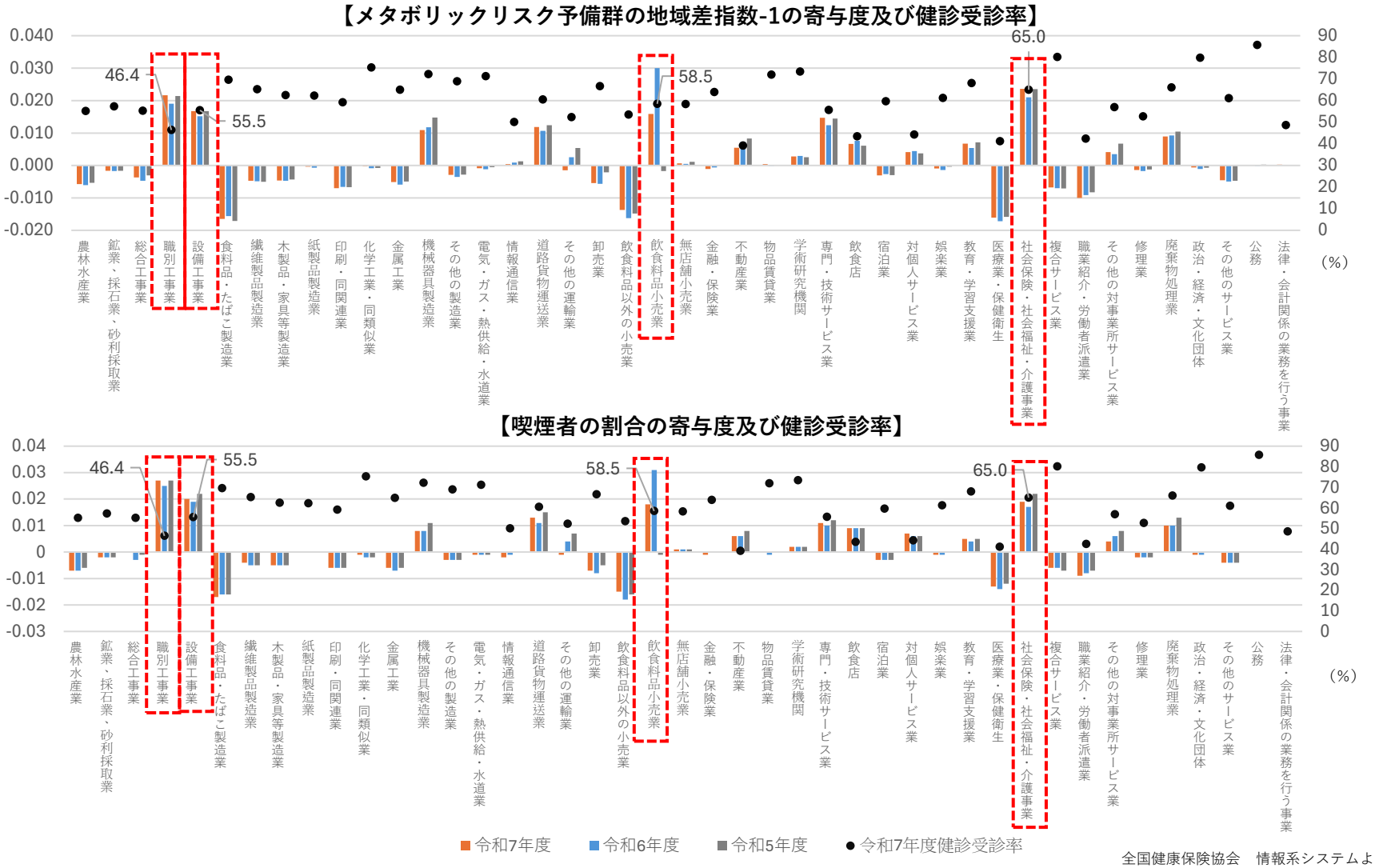


【女性】



【業態別】生活習慣病リスク保有率及び生活習慣要改善者の寄与度

「メタボリックリスク予備群」「喫煙者の割合」ともに「職別工事業」「設備工事業」「飲食料品小売業」「社会保険・社会福祉・介護事業」の寄与度が大きい。

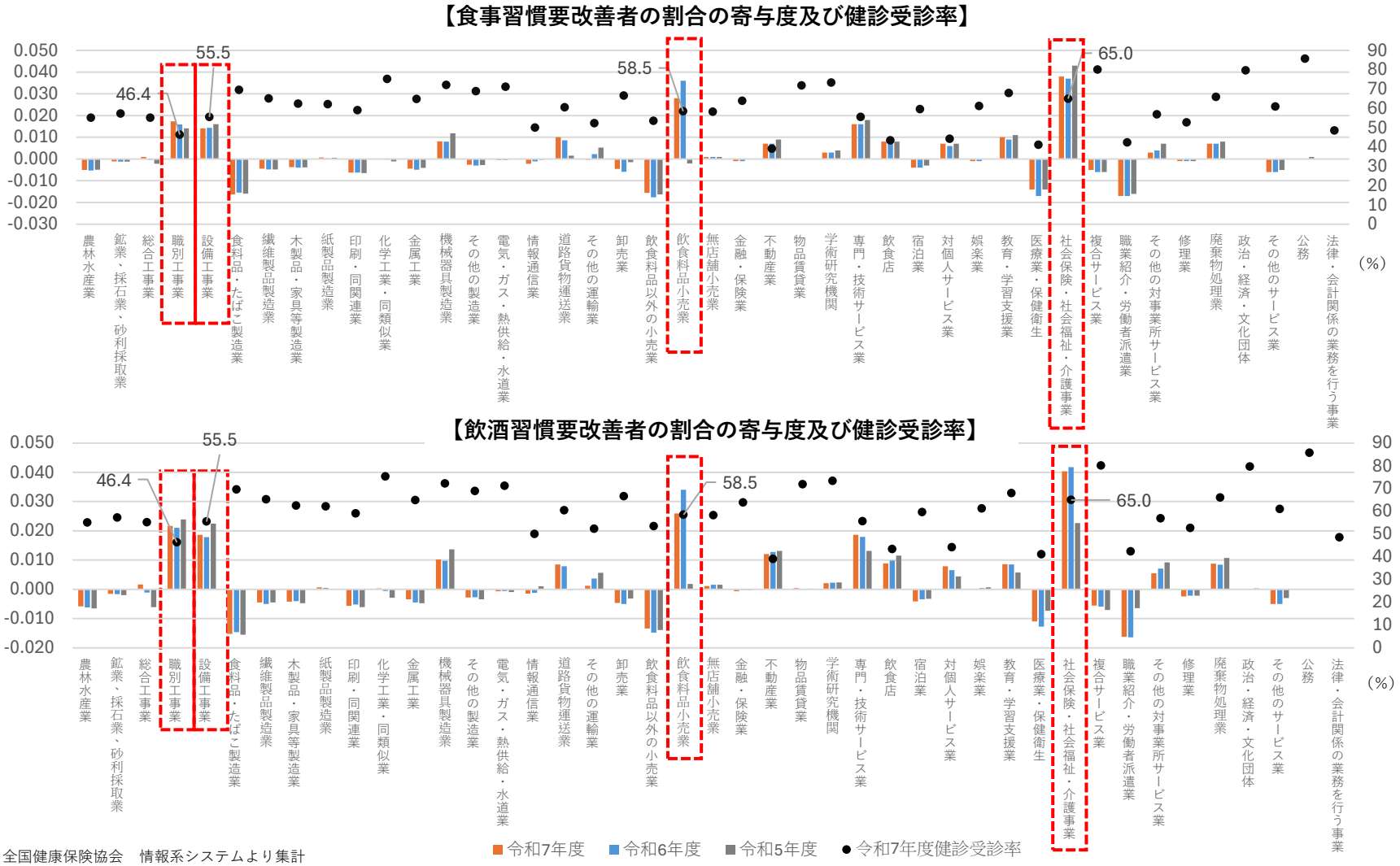


全国健康保険協会　情報系システムより集計

協会けんぽ

【業態別】生活習慣病リスク保有率及び生活習慣要改善者の寄与度

「食事習慣要改善者の割合」「飲酒習慣要改善者の割合」ともに「職別工事業」「設備工事業」「飲食料品小売業」「社会保険・社会福祉・介護事業」の寄与度が大きい。



全国健康保険協会　情報系システムより集計

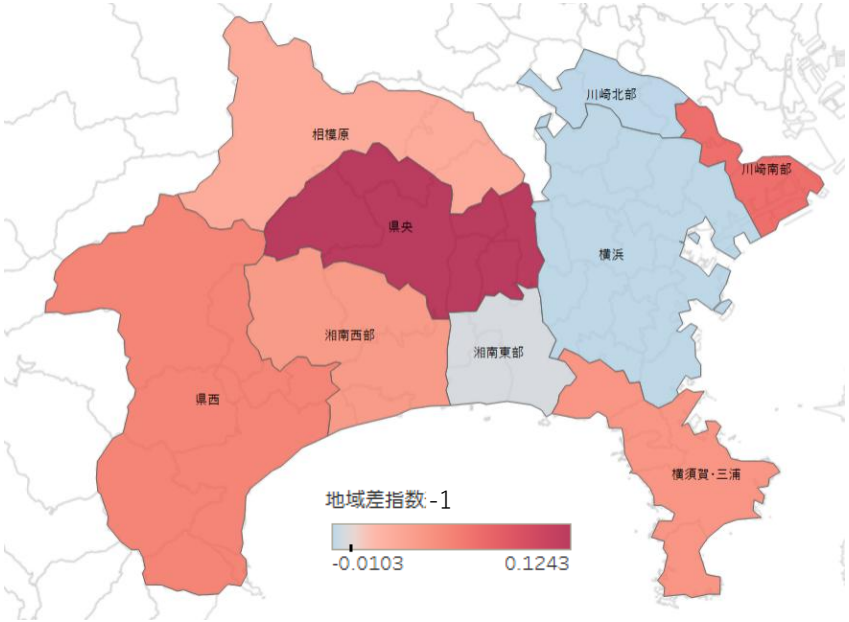
協会けんぽ

【二次医療圏別】生活習慣病リスク保有率及び生活習慣要改善者の寄与度

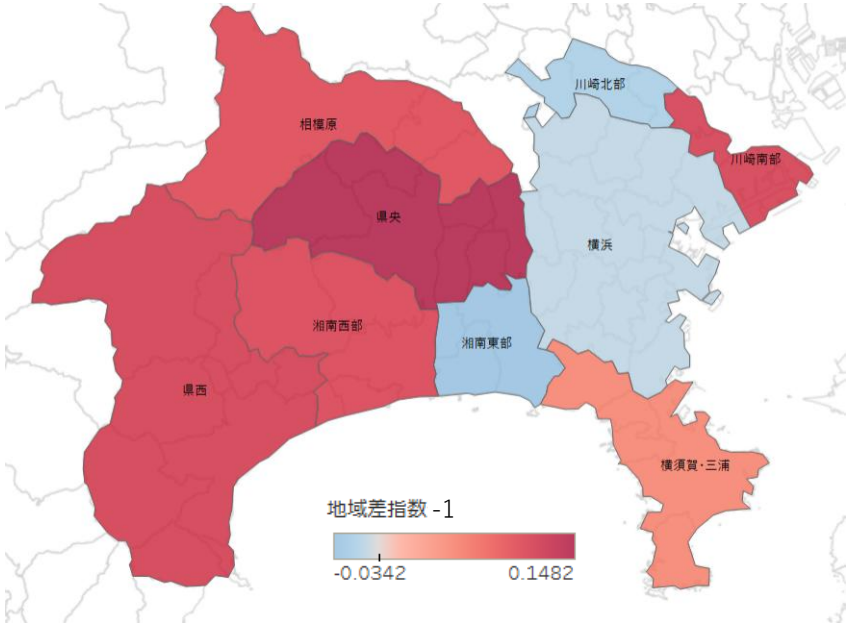
「メタボリックリスク予備群」「喫煙者の割合」の寄与度を二次医療圏別※でみると、西高東低の傾向があり、「県央」地域ではどちらも濃い赤色となっている。また、喫煙者の割合について、「川崎南部」も濃い赤色となっている。

※加入者の居住地をもとに算出

【メタボリックリスク予備群の地域差指数-1の寄与度】



【喫煙者の割合の寄与度】



全国健康保険協会　情報系システムより集計

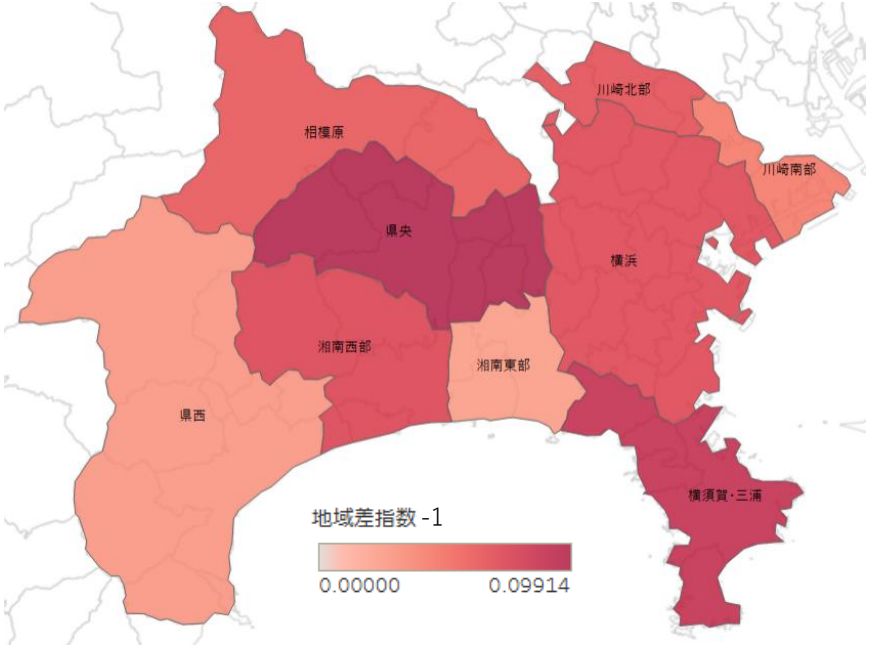
協会けんぽ

【二次医療圏別】生活習慣病リスク保有率及び生活習慣要改善者の寄与度

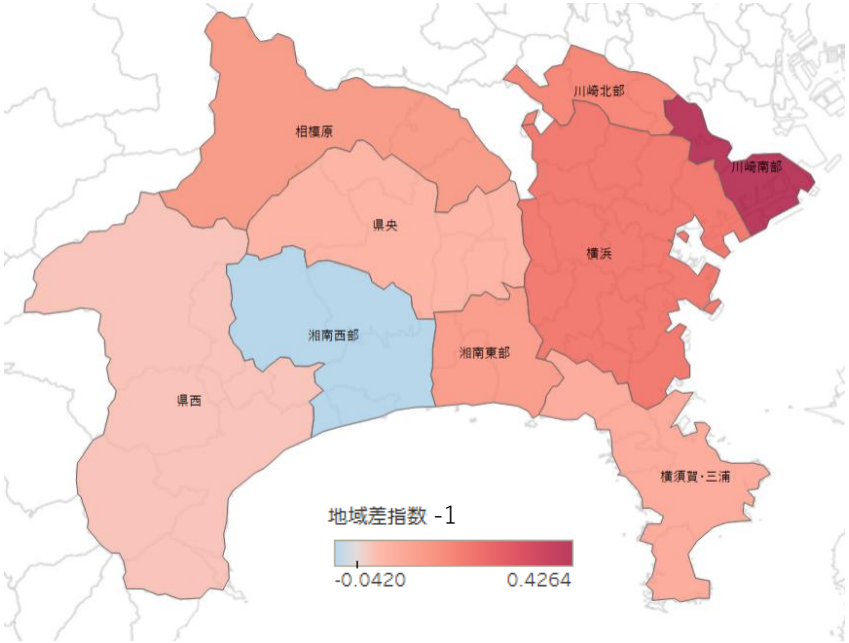
「食事習慣要改善者」では県全体で濃い赤色となっており、特に「県央」「横須賀・三浦」地域で寄与度が高い。「飲酒習慣要改善者」では「川崎南部」で寄与度が高い。

※加入者の居住地をもとに算出

【食事習慣要改善者の割合の寄与度】



【飲酒習慣要改善者の割合の寄与度】



全国健康保険協会　情報系システムより集計

協会けんぽ

神奈川支部加入者の健康課題

医療費

加入者一人当たり医療費は、全国平均を1,497円上回り（19位）。入院は、全国平均より低く（-1.16％）外来（＋1.69％）と歯科（＋0.17％）は、全国平均を上回っている。

（課題①）入院一人当たり医療費は、男性被保険者の「循環器系の疾患」が全国平均より高い（ワースト5位）。
さらに疾病別にみると「その他の心疾患※」がワースト3位で、全国との差（＋724円）も大きい。

※心房細動、リウマチ性心疾患、各種弁膜症、心筋症など。加齢に伴い必然的に発症リスクが上がる疾患が多く含まれるが、高血圧や糖尿病、喫煙などの生活習慣によるものも含まれている。

（課題②）外来一人当たり医療費の「腎尿路生殖器系の疾患」は、男女ともに全国平均より高い。
さらに疾病別にみると、男性被保険者は、「腎不全」が高く（ワースト3位）、全国との差（＋1,588円）も大きい。
また、40歳代以降ワースト上位に位置し続け、60～69歳ではワースト1位である。
女性被保険者は、「月経障害及び閉経周辺期障害」「腎不全」「乳房及びその他の女性生殖器の疾病」が全国平均より高く、特に「腎不全」は、30歳代の早い時期からワースト上位に位置している。

（課題③）外来一人当たり医療費の「呼吸器系の疾患」は、女性が全国ワースト1位で全国との差（＋1,927円）も大きい。
さらに疾病別にみると、「アレルギー性鼻炎」「喘息」が全国ワースト1位でありかつ、すべての年代で上位に位置している。

健診・問診結果

健診・問診結果では、「メタボリスク予備群」「喫煙者」「食事習慣要改善者」「飲酒習慣要改善者」の4項目について、リスク保有者の割合が全国平均より高い。

（課題④）男女ともに「食事習慣要改善者」の割合が全国平均より高く、さらに女性は「飲酒習慣要改善者」の割合も高い。

（課題⑤）業態別にみると、4項目ともに「職別工事業」「設備工事業」「飲食料品小売業」「社会保険・社会福祉・介護事業」が全国平均より高い。

（課題⑥）地域別にみると、「メタボリスク予備群」「喫煙者」は、「県西部」において全国平均より高い。
「食習慣要改善者」は、「県内すべての地域」において、全国平均より高い。
「川崎南部」「横須賀・三浦」は、4項目とも全国平均より高い。
「県央」は、「メタボリスク予備群」「喫煙者」「食習慣要改善者」が最も高い割合となっている。

課題に対する令和9年度の施策

（施策①）
　健診結果から糖尿病及び循環器系疾患、腎臓病のリスクが高い加入者を把握し、個人のリスクに応じて、特定保健指導による生活習慣の改善や受診勧奨により早期受診を促すことで、重症化の予防や新規患者の抑制を図る。

（施策②）
　健診実施機関と連携し、当日の結果説明や特定保健指導の中で健診結果に応じた受診勧奨を推進する。特に人間ドック健診受診者への結果説明等の面談の確実な実施を求め、早期受診につなげるよう働きかける。

（施策③）
　糖尿病性腎症重症化予防事業について、横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市の医師会およびかかりつけ医と連携した取組を実施する。

（施策④）
　女性加入者に向け、やせ、月経困難症、更年期障害、骨粗鬆症といった女性特有の健康課題について、県等と連携し、幅広く情報発信を行い、健康への関心や正しい知識を高め、疾病予防や適切な受診行動につなげる。

（施策⑤）
　健康宣言事業所に対する健康づくりのフォローアップの一環として、健康講座（食事・飲酒等の生活習慣や喫煙対策、女性の健康、メンタルヘルス予防対策等）を関係機関と連携を図りながら実施する。

（施策⑥）
　生活習慣要改善者の割合が高い事業所や健康保険委員の委嘱事業所については、重点的にかながわ健康企業宣言への登録勧奨を実施する。

（施策⑦）
　首都圏に勤務する加入者に多い長時間通勤や食生活の乱れといった健康を阻む生活習慣を改善するため、短時間・隙間時間で実践できる健康づくりのポイントを発信する。

神奈川産業保健総合支援センターとの包括的連携協定の締結

協会けんぽ神奈川支部と神奈川産業保健総合支援センターは、神奈川県内で働く労働者の健康増進と健康寿命の延伸を図るため、中小企業等の健康づくりの推進に資することを目的とする協定を令和8年10月14日（水）に締結しました。

本協定の締結により、神奈川県内の事業所および加入者の皆様における健康づくりの普及と取組をより一層推進してまいります。

連携及び協定事項

1　神奈川産業保健総合支援センター及び地域産業保健センターが実施するメンタルヘルス対策に係る支援の活用促進に関すること
2　神奈川産業保健総合支援センターが実施する治療と仕事の両立支援及び転倒・腰痛予防に係る支援の活用促進に関すること
3　協会けんぽ神奈川支部が実施する健康宣言事業の普及促進に関すること
4　協会けんぽ神奈川支部が実施する特定健診・特定保健指導並びに地域産業保健センターが実施する保健指導等に関すること
5　その他労働者の健康づくりに関すること

